

# 東海カード会員だより

2019年12月20日発行

各支部総会・校友会(同窓会・後援会・白鷗会各会員を含みます)日程(予定)

…詳細は各担当事務局・または学園校友課へ…

2019.12.20現在

1. 12月26日 (木) ・吹奏楽研究会第58回定期演奏会  
18:30 横浜みなとみらいホール
2. 2020年  
1月2日 (木) 川崎 他
3. 1月3日 (金) ・大学箱根駅伝競走復路応援・日比谷他 ※  
14:30 学園校友会新年祝賀会・校友会館
4. 1月7日 (火) ・静岡地区合同新年祝賀会  
18:00 清水マリンビル
5. 1月11日 (土) ・同窓会北海道ブロック網走地区会総会  
18:00 時代屋
6. 1月18日 (土) ・愛媛県校友会新年会  
18:30 ネストホテル松山
7. 1月19日 (日) ・鹿児島県白鷗会総会  
18:00 山形屋

※ 箱根駅伝の応援場所詳細については同窓会ホームページをご覧ください。

## インターネットホームページについて

URL : <http://www.kouyu.tokai.ac.jp/> (校友会)  
<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/kouenkai/> (後援会)  
<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/hakuou/> (白鷗会)  
<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/> (同窓会)

同窓会・校友会・後援会ではホームページを開設しております。会員の皆様からの情報をもとに内容を充実させていきたいと考えておりますので、ご意見・ご希望をお寄せ下さい。事務局までお気軽にお願いいたします。

## 東海大学ネットをご活用ください

・MicrosoftOffice365 システムによる生涯メールアドレスの利用  
(tokai-u.jp のドメイン)詳細は以下 URL をご覧ください。  
<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/service/net.html>

### 東海大学校友会(校友会・白鷗会・同窓会)事務局

学校法人東海大学理事長室学園校友課

〒151-8677 渋谷区富ヶ谷 2-28-4 TEL 03-3467-2211 (代表)

E-mail [koyukai@tokai.ac.jp](mailto:koyukai@tokai.ac.jp)

### 東海大学事務部事務課(後援会担当)

〒259-1252 平塚市北金目 4-1-1 TEL 0463-58-1211 (代表)

E-Mail [koyu@tsc.u-tokai.ac.jp](mailto:koyu@tsc.u-tokai.ac.jp)

## BWSC で準優勝

### 【ライトパワープロジェクト・ソーラーカーチーム】

#### 日本勢トップの好成績

陽の力だけを頼りに、3000キロ先のゴールを目指す―チャレンジセンター「ライトパワープロジェクト」のソーラーカーチームが、10月13日から20日までオーストラリアで開催された「2019ブリヂストン・ワールド・ソーラー・チャレンジ」(BWSC)に出場。最先端技術を用い、世界最速のソーラーカーの座を争うチャレンジャークラスで準優勝し、4チームが参戦した日本勢トップの好成績を残した。

世界から集う強豪と常にトップレベルの戦いを繰り広げてきた東海大学チーム。今大会では、有力チームの多くが人工衛星などに用いられる多接合化合物太陽電池を採用し、マシンの小型化、高速化を進める中、家庭用の太陽光発電でも使用されているシリコン系太陽電池を採用した。

不利な状況となったが、東しから供給された高強度炭素繊維素材「トレカ」を使用したCFRPボディや、ブリヂストン製のソーラーカー用タイヤ「ECOPIA with ologic」を搭載するなど、多数の国内有力企業から協力を得てマシン「19年型 Tokai Challenger」を開発。17年型に続いて単胴型(モノハル型)の形状を採用することで空力性能の向上を図るとともに、マシンを極限まで軽量化して対抗策を練ってきた。

#### 強風で上位にトラブル 安定性で順位をアップ

大会では、オーストラリア北部のダーウィンから予選6番手でスタートするも、ドイツ・アーヘン工科大学とアーヘン応用科学大学の「Team Sonnenwagen Aachene.V」とデッドヒートを繰り広げつつ、日を追うごとに順位を上げた。

終盤にかけてコース上に強い横風が吹きつけ、上位チームがコースアウトなどのトラブルに見舞われる中でも、Tokai Challengerは安定した走行を披露。砂嵐なども乗り越え、最後は優勝したベルギーの「Agoria Solar Team」とわずか11分18秒差でゴールのアデレードに到達した。

佐川耕平総監督(工学部助教)は、「この結果は、チームが世界に通用する技術を有することの証明。今後もさらに上位を狙えるよう取り組む」と話す。学生リーダーの武藤創さん(工学部4年)は、「高いチーム力でマシン開発から本番まで乗りきることができた」と充実した表情を見せた。

## 厚労省が拠点病院に指定

### 【医学部付属病院】「がんゲノム医療」を推進

医学部付属病院が9月19日、厚生労働省により「がんゲノム医療拠点病院」に初めて指定された。

がんゲノム医療は、患者のがん細胞の遺伝子を網羅的に調べ、遺伝情報を解析して個々の患者に適切な治療法を探るもの。「エキスパートパネル」と呼ばれる専門家チームが議論して治療法を分析する。

同省は、今年6月にがんゲノム医療の遺伝子検査システムが公的医療保険の適用となったことを受け、より多くの患者に対応ができるよう「拠点病院」を新規に指定。検査実績やスタッフの体制、地域性などが評価され、申請した95医療機関から34機関が選ばれた。

同病院は、神奈川県内随一のがん治療実績と新規がん治療薬の治験実績を有している。2018年4月に同省の「がんゲノム医療連携病院」の指定を受けて以降、ゲノム解析による個別化治療ができる「拠点病院」の指定を受けるべく体制を整えてきた。中心になって準備を進めてきた医学部の安藤潔教授(内科学系血液・腫瘍内科学)は、「各患者さんに合った薬を選べるゲノム医療には大きな期待が寄せられていますが、一方で、遺伝情報の告知などに関する課題も残されています。病理医や遺伝医療の専門家、がんゲノムの専門家らと議論しながら慎重進め、地域のがん医療に貢献したい」と話している。